

創る：

アフリカの人びとが創りだす美と技の世界

—ものづくり研究最前線—

現代のアフリカにくらす人びとの生活のなかには「美」と「技」の世界についてお話しします。ケニアとエチオピアでフィールドワークをつづけている若手研究者の最新の研究成果を「創る」というキーワードにそって、オムニバス形式（講演と展示）で紹介します。



と き：2009年12月19日（土）

15：00～17：00

ところ：京都大学稲盛記念館 3階

問い合わせ先：

front-africa@jambo.africa.kyoto-u.ac.jp

【先着20名まで】

中村香子 Nakamura, Kyoko

「ビーズ装飾の最前線：東アフリカの牧畜民マーサイ、サンプルを事例に」

アフリカのビーズ装飾というと「伝統的」なものであると考えられがちだが、現在、東アフリカで使われているビーズの多くはチェコ製である。「伝統的」な人びととしてよく知られているマーサイやサンプルの人びとが身につけているビーズ装飾もほとんどすべてチェコからの輸入品だ。彼らの装身具を写真や現物で紹介しながら、その意味や歴史、デザインのこだわりについて紹介する。観光化の影響など、近年ビーズ装飾におきているさまざまな変化についても触れたい。



ベル・タルシタニ Belle Tarsitani

「アフリカのバスケット製作の連続性と創造性：フェアトレードの可能性」

Continuity and innovation in contemporary basket making in Africa: Prospects for Fair Trade practices

This presentation uses examples of African basket making to highlight the important issue Fair Trade. As a case study, the speaker will explore some functions and meanings found in Ethiopia's famous Harar basketry, and demonstrate the skill and time required in crafting these objects. Although basketry techniques and meanings vary greatly throughout Africa, some pan-cultural similarities in continuity and innovation will be briefly examined..

The aim of this presentation is to show a concrete example of the potential role of fare trade in the sustainable development of local craft industries in emerging and developing economies.



金子守恵 Kaneko, Morie

「土器を創る：エチオピア・女性職人の土器づくりの技法」

エチオピアの人びとは、鉄やアルミ製品だけではなく、土器も調理具として頻繁に使い続けている。地域の外から流入してくる調理具とは異なる土器の優れた特質や、職人が客のこまやかな注文にあわせてさまざまなかたちや大きさの土器を創ることを紹介する。モノ、情報、技術が地域外から絶えず流入されつづけている現代のエチオピアで、在来の土器づくりの技法が、母から娘へと受け継がれている現状についてもふれる。

